

鳥取赤十字病院における 予定入院患者における薬薬連携

令和6年10月28日

鳥取赤十字病院 薬剤部 大平 純平

- 薬局薬剤師とのシームレスな連携構築
- 薬局薬剤師との入院前の服用薬の情報共有
- 服用薬における整理業務のタスクシフト
 - ⇒ 重複投薬の防止や残薬解消
 - ⇒ 患者の薬物療法の安全性・有効性が向上
 - ⇒ 医療費の適正化
- 鳥大附属病院が先行で行っており、鳥取県東部へ広げるため

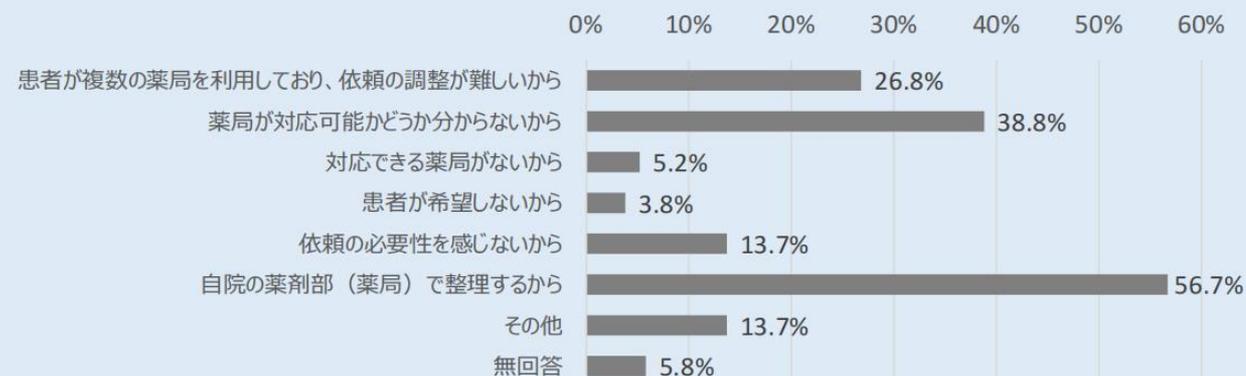
医療機関における入院時の持参薬整理①

- 入院前に持参薬の整理を依頼しない理由としては「自院の薬剤部（薬局）で整理するから」や「薬局が対応可能かどうか分からないから」といった回答が多かった。
- 入院時に薬局に担ってほしい支援としては「普段の服用状況、副作用の状況等の情報提供」、「持参薬の管理」や「重複投薬等の有無の確認」といった回答が多かった。

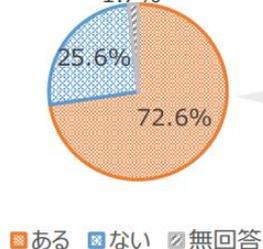
入院前に薬局に患者の持参薬の整理を依頼すること
(回答病院数=351)



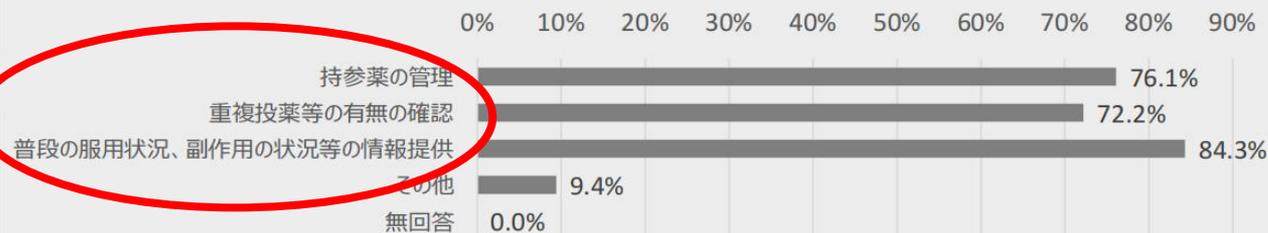
▼薬局に持参薬の整理を依頼しない理由 (回答病院数=291, 複数回答)



入院時に薬局に担ってほしい支援
(回答病院数=351)



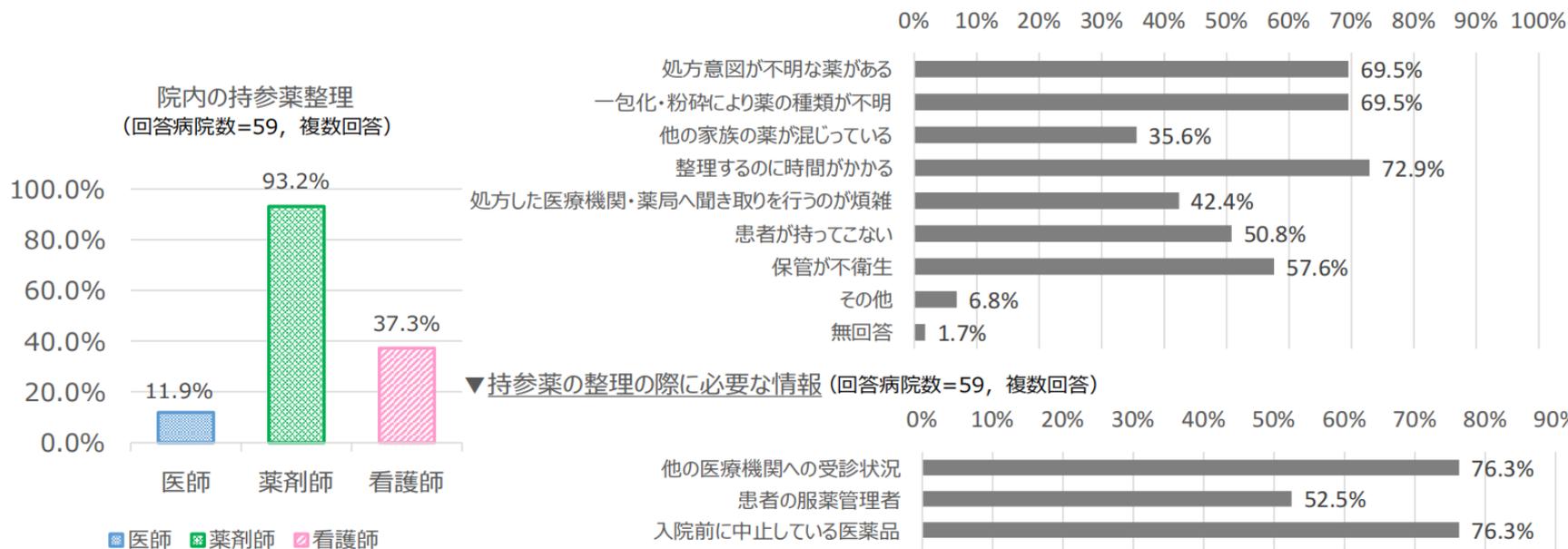
▼入院時に薬局に担ってほしい支援の内訳 (回答病院数=255, 複数回答)



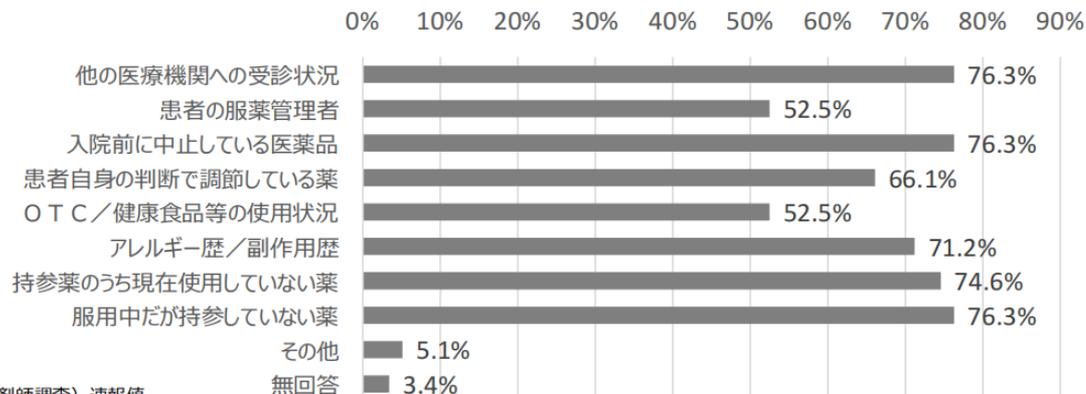
医療機関における入院時の持参薬整理②

- 病院において持参薬整理の際に困ることとしては、「持参薬を整理するのに時間がかかる」や「処方意図が不明な薬がある」といった回答が多かった。
- 病院において持参薬整理の際に必要な情報としては、「他医療機関への受診状況」、「入院前に中止している医薬品」や「服用中だが持参していない薬」といった回答が多かった。

▼持参薬の整理の際に困ること (回答病院数=59, 複数回答)



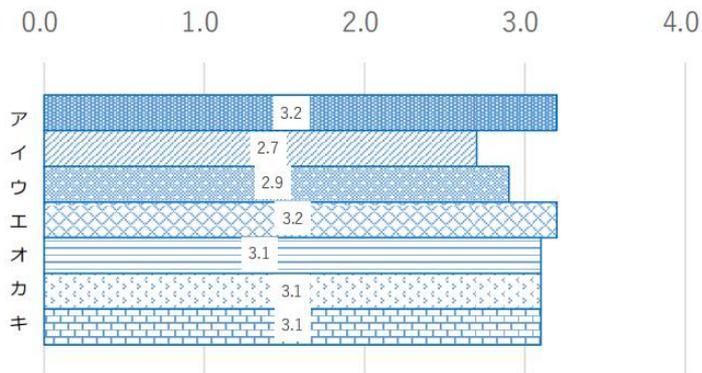
▼持参薬の整理の際に必要な情報 (回答病院数=59, 複数回答)



医療機関における入院時の持参薬整理③

- 入院時における薬局薬剤師からの情報提供文書については、「持参薬確認の負担軽減につながった」や「持参薬が起因する医療事故のリスク軽減につながった」といった回答が多かった。

入院時における薬局薬剤師との情報連携において
薬局薬剤師からの情報提供文書の有用性※1



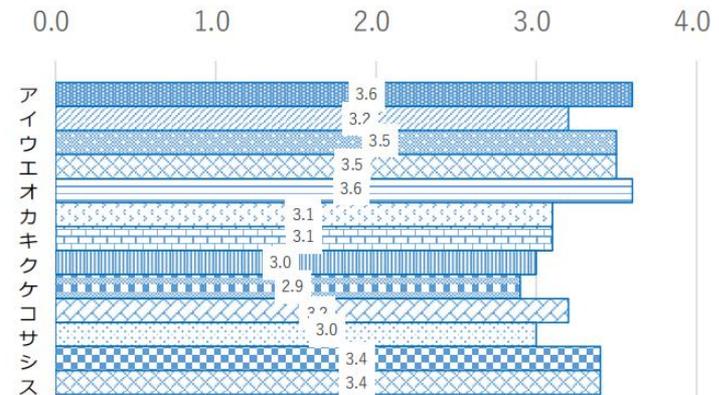
- ア. 持参薬確認の負担軽減につながった
- イ. 薬剤総合評価調整加算等への取組みに活かされた
- ウ. 持参薬が起因する医療事故のリスク軽減につながった
- エ. カルテへの持参薬内容の反映がスムーズになった
- オ. 病棟薬剤業務の充実につながった
- カ. 薬剤管理業務の充実につながった
- キ. 調剤業務の円滑な実施につながった

(入院時に薬局薬剤師から情報提供文書を受けたことがある病院薬剤師=11)

※1 1: 思わない, 2: どちらかといえば思わない, 3: どちらかといえばそう思う, 4: そう思う

出典: 平田恭洋ら, レギュラトリーサイエンス学会誌, 12巻1号掲載予定 (2022年1月末発刊予定)

これまで薬局薬剤師から提供された情報提供文書に
ついて、有用であった内容※2



- ア. 処方の経緯 (処方追加、増減量、中止など)
- イ. 症状の経過
- ウ. 服薬状況
- エ. 特殊な調剤方法
- オ. 実際の服用法 (頓服、外用、調節服用など)
- カ. アレルギー、副作用歴
- キ. 禁忌などの相互作用
- ク. 患者のADL
- ケ. 嚥下状態
- コ. 本人・家族について
- サ. 検査値
- シ. 入院前の薬物療法の評価
- ス. 投与経路

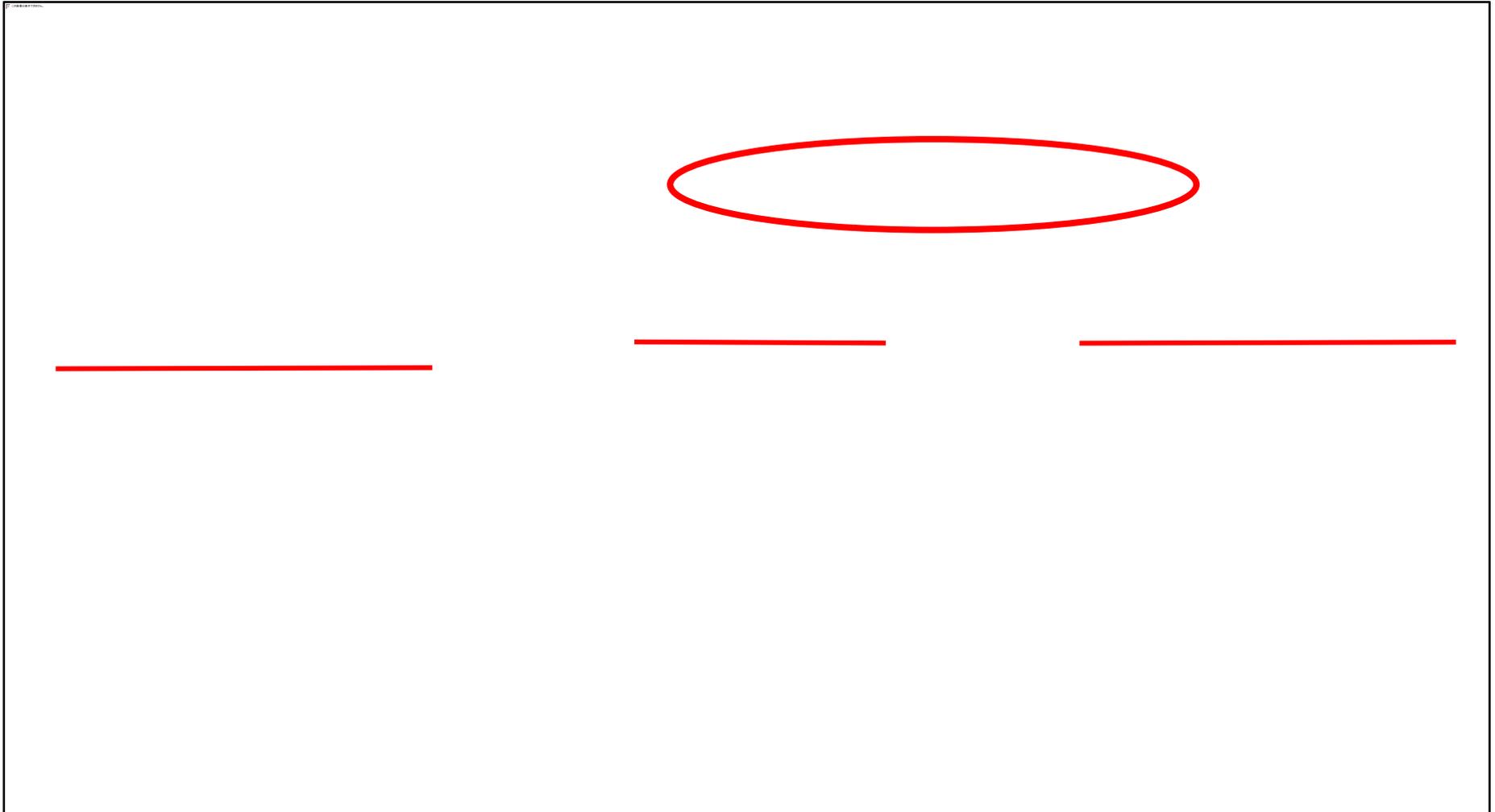
(入院時に薬局薬剤師から情報提供文書を受けたことがある病院薬剤師=11)

※2 1: 有用でない, 2: どちらかといえば有用でない, 3: どちらかといえば有用である, 4: 有用である

✓ 服薬情報等提供料3



- 服薬情報等提供料3の算定要件には、「**持参薬の整理**」と「**情報提供**」が掲げられている



✓ 症例

80代女性

【病名】腹壁嵌頓ヘルニア

【既往歴】高血圧、子宮頸がん術後、左腎盂がん術後、**骨粗鬆症**

【常用薬】

アムロジピン錠2.5mg オメプラゾール錠10mg エルデカルシトール0.75μg

ロスバスタチン錠2.5mg リシノプリル錠5mg

バゼドキシフェン20mg メチコバル錠500μg

【経過】

5/28 外科外来受診

↓

6/13 入院

6/14 手術

バゼドキシフェン
追加

当院外科を受診し、手術の日程が決定後、かかりつけ医を受診。

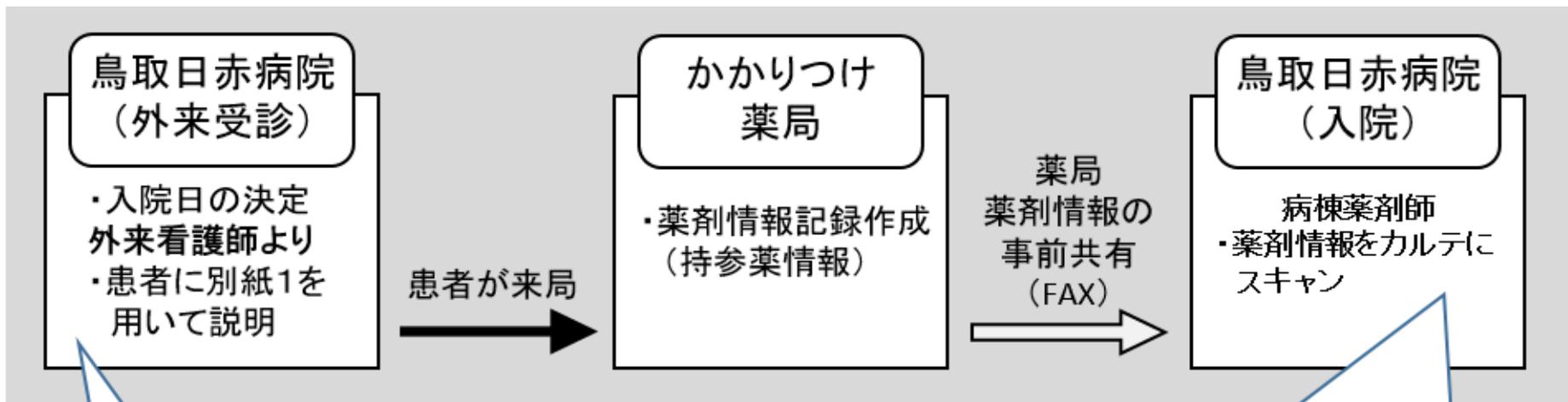
バゼドキシフェンが追加処方となっていた。(休薬期間:手術3日前)

手術前日まで服用しており、休薬期間を守れなかった。



入院予定患者の薬剤情報提供書によって防げたのでは！？

✓現在の運用



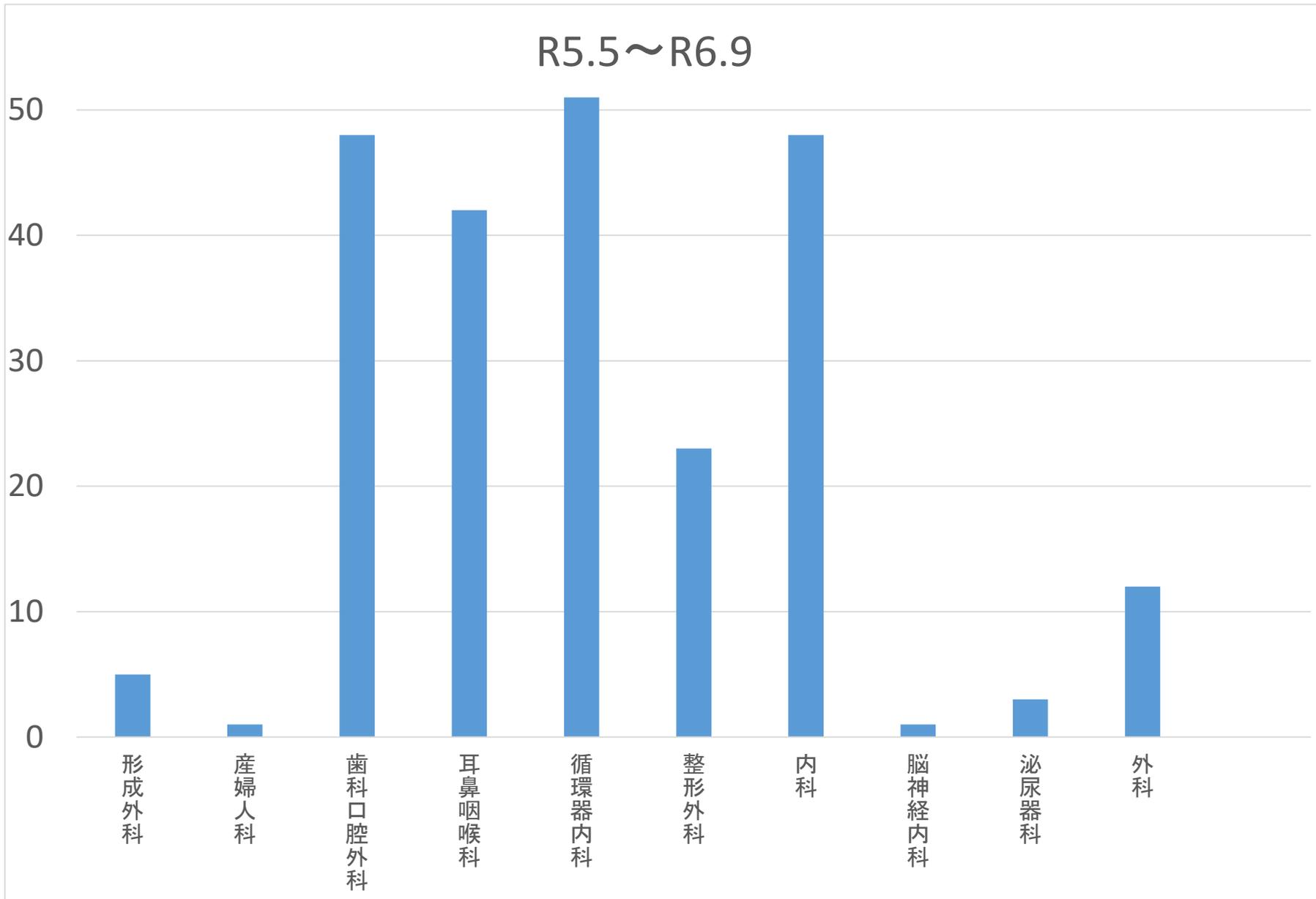
- ・持参薬1剤のみの患者や若年の患者の情報も含まれている。
- ・持参薬整理はされていないことが多い。

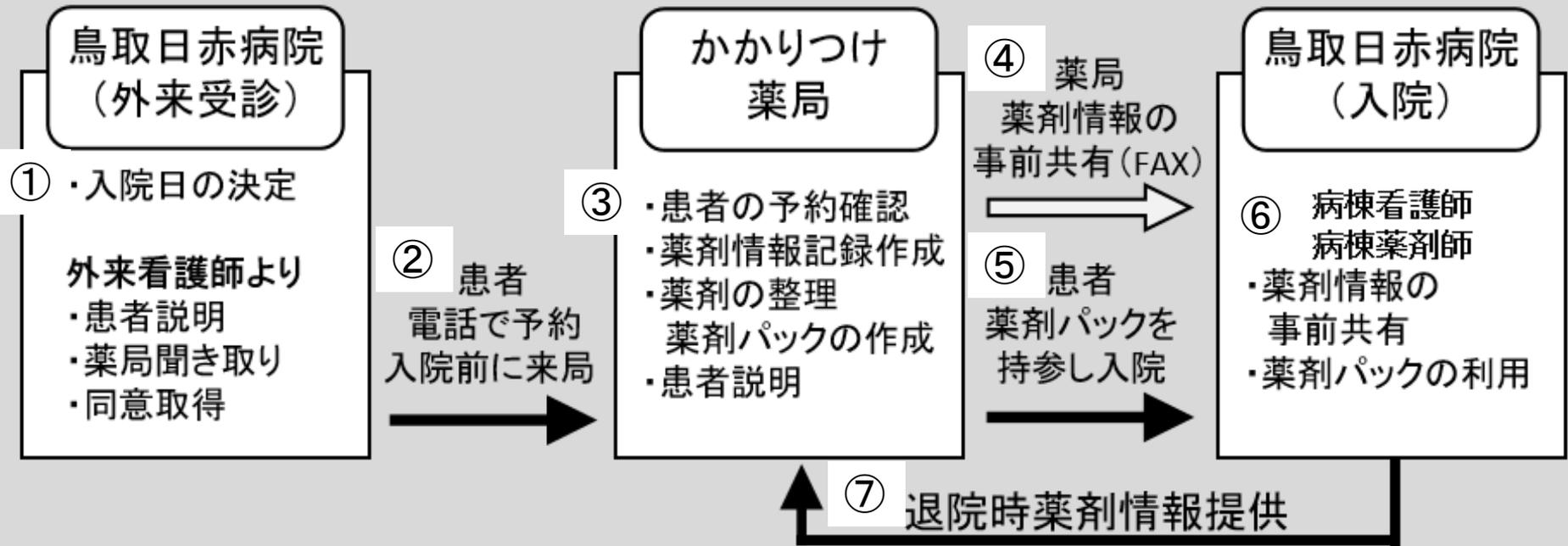
服薬に問題がない患者に説明されている。

✓ 各科における服薬情報提供書の件数

R5.5～R6.9

件数





全ての入院予定患者に行うことはありません

特に薬剤整理が必要な患者

- ① **多剤使用患者** (複数の医療機関からお薬をもらっている)
- ② **高齢** で自己管理を行っている
- ③ **服薬状況** に問題がある

✓ ①② 患者説明文書

入院予定患者さんへのお願い

(兼持参薬情報提供書の依頼)

患者ID: ID
氏名: 〇〇様 記入日 YYYY年MM月DD日
診療科: 〇科 ◆ =入院予定日(1ページ目) 入院の入院予定となりました。

<入院(手術・検査等)される皆様へのお願い>

入院前に薬局へ行き、現在使用している薬を整理整頓してもらい、入院時に持参していただくこと、さらに入院される患者さんの薬の情報を事前に病院スタッフへ情報提供頂くことは、安心安全かつスムーズな入院へ繋がる重要なことと当院は考えております。つきましては入院時に持参頂くお薬について以下の通りご案内致します。

① かかりつけ薬局へ「病院から入院前のお薬の整理依頼」があったことを**電話連絡**して下さい。(※かかりつけ薬局とお薬を整理する日程調整をして下さい)

② かかりつけ薬局へ持参するもの

病院から手渡された書類

・入院予定患者さんへのお願い(本紙)

現在使用しているお薬全て(当院以外のお薬、インスリンや湿布、点眼薬なども含めて)

お薬手帳(現在使用している薬の内容がわかるもの全て)

③ 入院時には「整理されたお薬」と「お薬手帳」をお持ちください。

*ご不明な点があれば平日の15時以降に外来看護師までお問い合わせください。

*すべての薬を開業医から直接もらっている方は、この用紙は破棄してください。

保険薬局ご担当者様へのお願い

～入院時薬剤Pack作成と入院前薬剤情報提供作成について～

当院に入院予定の患者さまの、服薬整理(入院時薬剤Pack作成)と薬剤情報提供についてお願い致します。

入院時には下記3点を袋に入れて持参するようご指導ください。

薬局がまとめた薬剤 (※基本14日分で日数をそろえる。残数によっては14日分なくてもよい)

『入院予定患者薬剤情報提供書』

薬局が発行しているお薬情報提供用紙またはお薬手帳情報

病院で説明する内容

✓ 患者さんが**直接**、かかりつけ薬局へ**電話連絡**をして来局日時(入院1週間前を目安)を決めてもらう(かかりつけ薬局がない場合は病院側で選定支援)

✓ 現在使用している薬剤(鳥取日赤以外も全て)を薬局へ持って行くよう、説明します。

✓✓ ①② 薬局依頼文書

保険薬局ご担当者様へのお願い

～入院時薬剤Pack作成と入院前薬剤情報提供作成について～

当院に入院予定の患者さまの、服薬整理（入院時薬剤Pack作成）と薬剤情報提供についてお願い致します。

入院時には下記3点を袋に入れて持参するようご指導ください。

- 薬局がまとめた薬剤（※基本14日分で日数をそろえる。残数によっては14日分なくてもよい）
 - 『入院予定患者薬剤情報提供書』
 - 薬局が発行しているお薬情報提供用紙またはお薬手帳情報
- ※薬剤Pack後に新たに追加された薬がある場合は必ず入院時に持参して頂くことを説明して下さい

—— 保険薬ご担当者様へ ——
情報提供書はFax(薬剤部直通)で病院にお願いします。

【運用や薬剤に関する問い合わせ先】
鳥取赤十字病院 TEL 0857-24-8111 FAX 0857-24-5794(薬剤部直通)

- ✓ 薬剤Packの**日数**はそろえてください。
- ✓ 必ずしも**14日間**なくてもよいです。
- ✓ 薬剤Pack作成後、**新たに追加になった薬剤**がある場合、入院時に持参するよう説明してください

③④患者が来局
(入院予定患者薬剤情報提供書)

別紙 2-1

(別添様式 1-2)

入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供書

入院先保険医療機関:

担当者: 殿
令和 年 月 日
情報提供元保険薬局の所在地及び名称
電 話
(F A X)
保険薬剤師氏名 印

◎ 月 日より入院予定の 様の服用薬について、ご報告いたします。

患者氏名
性別 (男・女) 生年月日 年 月 日生 (歳)
電話番号
住所
最終調剤日: 年 月 日

特記事項:

以下のとおり、情報提供いたします。

1 受診中の医療機関、診療科等に関する情報

番号	保険医療機関名	診療科	備考

2 現在服用中の薬剤の一覧

※用法用量を参照すべき場合等については、必要に応じて手帳等の写しを添付

「1」の処方医療機関の番号	医薬品名	用法・用量	服用開始時期	処方状態 (粉砕、一包化等)	入院時処方 予定数 (日分)	残薬数	備考

✓ 処方医療機関毎に通し番号を振りを記載してください。

✓ 処方状態の記載をお願いします。
(一包化、粉砕等)

✓ 残薬数の確認をお願いします。
(退院処方の有無を決定するため)
7日以上の有無で良いです。

✓ 入院予定患者薬剤情報提供書は鳥取赤十字病院HP (PDF版、Word版) へ掲載予定です。

✓ 各薬局が使用している様式で問題ないです。

✓ ③④患者が来局
(入院予定患者薬剤情報提供書)

医師の指示による入院前中止薬

自己調節している薬

3 患者の服薬状況 (アドヒアランス及び残薬等)

服薬管理者 (当てはまるものに「✓」)	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 介助者 <input type="checkbox"/> その他()
服薬状況に関する留意点	
退院時の処方の際に お願いしたいこと	

4 併用薬剤等 (要指導・一般用医薬品、医薬部外品、いわゆる健康食品を含む) の情報

--

5 その他

--

【記載上の注意】

- 1、保険医療機関への情報提供にあたっては、「1」、「2」及び「3」を記載したうえで、必要に応じて「4」または「5」により、患者の処方状況を報告すること。
- 2、服薬管理を行っている者について、当てはまる項目に「✓」をつけること。
- 3、必要に応じて、備考欄に受診・通院目的を記載すること。
- 4、必要に応じて、続紙に記載して添付すること。
- 5、必要に応じて、手帳、血液検査の結果の写しなどを添付すること。

薬局名: _____ 薬局

FAX : 0857-24-5794 (鳥取赤十字病院 薬剤部)

✓ 術前中止薬に関して、不明な点は必ず
問い合わせをしてください。
※必ず医師の指示の元、休薬指示は
行っています。

術前中止薬に関する問い合わせ先
0857-24-8111
鳥取赤十字病院 薬剤部へ

✓ ③④患者が来局
(入院予定患者薬剤情報提供書:FAX送信)

別紙2

年 月 日

《FAX 送信票》

送信先 鳥取赤十字病院 薬剤部

FAX : 0857-24-5794

FAX 全枚数 (本票を含む) _____ 枚

件名 【入院予定患者薬剤情報提供書】

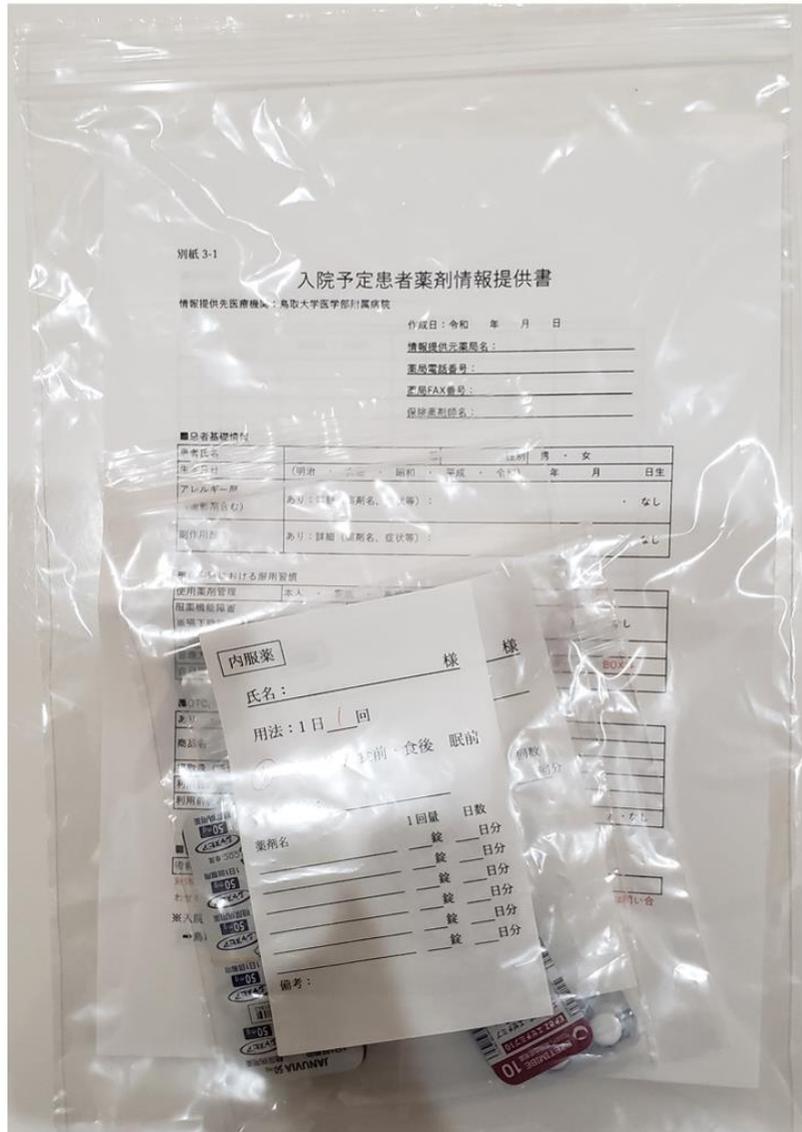
送付元 薬局名: _____ 薬局

いつもお世話になっております。鳥取赤十字病院へ入院予定患者の薬剤情報提供書を送信致しますのでご確認願います。

✓ 「入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供書」は作成次第、**鳥取日赤へFAXしてください。**

✓ ③薬剤Packのイメージ

A 4 チャック付き袋



B 6 チャック付き袋



B 6 チャック付き袋



✓ ③入院時薬剤Pack作成

- ✓ 入院後使用する14日分の薬剤(外用、インスリン等の自己注射も含む)を整理してください。

※日数が不足していても問題ありません。

服薬情報提供書にその日数を記載してください。

→日数が不足することで患者さんに敢えて受診を促す必要はないです。

- ✓ 他施設、他薬局の薬剤に関して、依頼文書の内容に基づいて整理してください。

- ✓ 下記3点を入院時薬剤Packに入れてください

- 薬局がまとめた薬剤 (※基本14日分で日数をそろえる。残数によっては14日分なくてもよい)
- 『入院予定患者薬剤情報提供書』
- 薬局が発行しているお薬情報提供用紙またはお薬手帳情報

✓ ③入院時薬剤Pack詳細

【内服薬】

患者の管理方法(一包化、PTP管理など)に合わせて**用法毎**、もしくは**服用タイミング**でまとめてパッケージしてください。

【頓服薬・外用剤・注射薬】

使用状況を確認し、使用がないものは持参薬から除いてください。
使用がある薬剤のみ用法ラベルを記載し、パッケージしてください。

✓ 全事例に一包化の必要はないが、必要と判断される場合は実施しても良いです。

※特に**複数医療機関の処方を一包化する場合は**、退院後の服薬管理に影響する可能性があるため、患者の服薬状況などを考え慎重に判断してください。

※外来服薬支援料2の算定などは各薬局の判断とする。

✓ ③入院時薬剤Pack詳細

頓服

氏名： _____ 様

用法： _____

薬剤名 _____ 回数 _____ 回分 _____

備考： _____

外用薬

氏名： _____ 様

用法： _____

薬剤名 _____ 持参数量 _____

備考： _____

注射薬

氏名： _____ 様

用法： _____

薬剤名 _____ 持参数量 _____

備考： _____

- ✓ 入院時の薬剤Packにはラベルを貼付してください。
- ✓ 自施設で調剤時に使用している薬袋を再度印刷して、日数等を書き換えて使用しても構いません。
- ✓ 用法毎の薬袋や情報提供用紙等、透明チャック付き袋にまとめて、患者に入院時持参するよう指導しお返してください。

✓ ⑥⑦退院時薬剤管理サマリー

- 服薬情報(自己管理可、看護師管理)
 - 退院時の処方
 - 特記事項
- etc.

かかりつけ薬局御中		KRT-1846-03 1 / 1
		ID: 90000001
		作成日: 2024年 月 日
退院時薬剤管理サマリー		
様 の退院時処方・薬剤的管理事項について連絡申し上げます。		

生年月日:		
入院期間:		~
主治医:		

【入院時持参薬】		
【退院時処方薬】		
【特記事項】		

※ご不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。 薬剤師:		
鳥取赤十字病院		
〒680-8517 鳥取市尚徳町1-1-7 TEL: 0857-24-8111(代表) FAX: 0857-24-5794(薬剤部)		

薬剤師



運用マニュアル、各種用紙
は鳥取赤十字病院薬剤部
HPへ掲載掲載予定

> 薬剤部の5つの特徴

> 各業務を紹介します

> 専門薬剤師は面白い

> 新人教育と学生実習

> 新人薬剤師の声

> トレーシングレポート

> 簡易懸濁法

Introduction

薬剤部の5つの特徴



薬剤部長 小寺 悟

外科から開始しています。

何か問題点があれば問い合わせをお願いします。

多剤併用の見直し
服薬状況の確認
支援きっかけにしてほしい